

2022 年度 学校評価（自己評価）

横浜隼人中学・高等学校

1. 学校は学科やコースの特性に応じた教育を実践している

昨年に比べて大きな差異は見られていません。今一度各コースが目標に応じた進路指導や教科指導ができているか見直しをすることが大切だと思います。効果的な実践により更なる学力向上に繋げていく必要があります。

2. 学校は緊急時の対応について必要な訓練や指導をしている

主に年2回実施する避難訓練に対する評価と思われます。教員の半数以上が「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の回答をしているのは、学校が発電機、簡易トイレ等の災害時の備えを少しずつでも確実にしていることがあまり周知されていない結果と思われます。教員はもっと施設の充実を希望している点もあるようです。

3. 学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる

情報モラルの低さから問題が発生することが多く、この点に関しては更なる指導の徹底が必要です。生徒アンケートでは23%近くの生徒が「あまりあてはまらない」「あてはまらない」という結果になっており、このことを学校はしっかりと受け止めていく必要があります。いじめや暴力のない学校づくりを継続し、生徒たちがなお一層安心感を持って生活できるように生徒一人ひとりに目を配っていくことが大切です。

4. 学校は校内や通学時の安全に常に配慮している

生徒に安全な登下校を促すため、本校では「登下校の指導」、「交通安全講習会（高校1年）」、「自転車通学者の安全講習」等に取り組んできました。最近では自転車の事故が多く、被害者になる場合だけでなく加害者になるケースもあるため、自転車通学者は特に安全意識を高める必要があります。さらにヘルメットの義務化についても学校だけではなく、社会全体で考えなくてはなりません。

5. 学校は個々の生徒の進路に適した教育課程を用意している

生徒、保護者いずれも教員も80%前後は満足 of いく回答をしていますが、進路指導は学校の大きな柱となるため、もう少しコースの教科内容を確認していきたいと思います。

6. 学校は進路について個々の生徒に対して丁寧な指導をしている

生徒・保護者に対する進路説明会や三者面談等が適切に行われていることで、生徒・保護者とも一定の評価がなされています。しかし、教員の満足度が昨年より10%近く高くなっていることが気になります。自分たちの指導に対して驕ることなく一人一人の生徒に向き合っていきたいと思います。

7. 学校での授業や補習はわかりやすく、学力向上に結びついている

教員はわかりやすい授業をやっているつもりでも生徒の感じ方は違うと思います。生徒の経験値を今一度加味しつつ授業や補習に取り組んで、生徒自身に効果的な学習習慣が身につくように指導していきます。

8. 学校は教科に関する個別の質問に熱心に対応している

生徒、保護者、教員とも良い評価が約8割となっています。授業中の対応だけでなく、職員室前設置の学習スペースなども役立っていると考えられます。またの自習室の活用など自学自習の習慣が生徒たちに身につけてきているように感じます。

9. 学校は生徒の悩みや相談に親身になってくれる

担任教諭や養護教諭のきめ細やかな対応やスクールカウンセラーの増員などにより、高い数値となっています。横浜隼人の面倒見の良さが今以上にしっかりできるように努力していきたいと考えます。

10. 学校は生徒に規律ある姿勢や態度を育てる指導をしている

礼儀正しい生徒が多く入学しているため、挨拶などがしっかりとできています。来校者からもお褒めの言葉をいただくこともあります。部活動の加入率が高く、部活動を通して礼儀などが徹底されていることから規律ある学校生活が実践されています。生徒一人一人に自覚ある言動が見られます。

11. 学校行事は内容が充実しており、適切な時期に実施している

コロナ禍も徐々に落ち着きを見せ、制限付きですが文化祭やスポーツフェスティバルができるようになってきました。また修学旅行も再開され、生徒たちの楽しみも増えてきたように思えます。今後は行事の中身を充実したものにできるよう検討していきたいと思えます。

12. 学校は部活動・委員会活動・特別活動等に積極的に取り組ませている

本校では生徒たちの部活動加入率も高く、委員会活動・特別活動にもとても積極的に参加をしています。何事に対しても自ら取り組む姿勢を身につけ、社会でも活躍できる力を育んで欲しいと思えます。

13. 学校には教育に必要な施設・設備が整っている

教員と保護者の評価が相反する結果となっています。教員は生徒のために更なる学習環境の充実を望んでいることが読み取れます。学校の規模なども考え適正な環境づくりに努めていきたいと思えます。

14. 学校は衛生的できれいな環境を整えている

コロナ禍のなかゴミの持ち帰りなどもお願いしていましたが、制限を少しずつ緩和しています。その一方でアルコール処毒液なども適宜設置し、衛生管理には心掛けています。コロナの扱いも変わってきていますが、衛生管理にはより努めていきたいです。

15. 学校はホームページやお知らせメール等でよく情報を発信している

本校ではホームページを通して学校全般の活動を積極的に発信しています。また、配布物の確認、緊急時の連絡などもメール配信やクラスルーム、クラッシーを積極的に活用しています。今後もご家庭との情報共有の架け橋になるような発信をいきたいと思えます。

16. 必要に応じて学校と家庭との連絡がとられている

保護者の8割以上から評価されています。本校では学校生活のなかで気に掛かることやトラブル、悩みを抱えているときにはご家庭とともに解決していきたいと思っています。親御さんの協力なくして生徒たちは育っていきません。そのためにもご家庭との連絡をより密にして、情報共有をしていきたいと思っています。